

# 業績ハイライト

(百万円)

## 財務ハイライト

	2017	2018	2019	2020	2021
売上高	56,717	62,111	62,251	59,127	60,097
営業利益	2,795	3,674	4,565	5,136	5,941
経常利益	2,883	3,735	5,004	5,354	6,118
親会社株主に帰属する当期純利益	1,506	519	3,159	4,991	4,853
EBITDA *1	4,547	5,396	5,920	6,455	7,262
調整後当期純利益 *2	2,145	1,151	3,596	5,420	5,275

\*1 EBITDA=営業利益+減価償却費+のれん償却額  
\*2 調整後当期純利益=当期純利益+のれん償却額



# 会社概要

社名	株式会社プロトコーポレーション	
設立	1979年6月1日 (創業:1977年10月1日)	
資本金	1,849百万円 (2021年3月31日現在)	
発行済株式総数	41,925,300株 (2021年3月31日現在)	
本社	〒460-0006 愛知県名古屋市中区葵一丁目23番14号 〒160-0023 東京都新宿区西新宿六丁目18番1号	
支社	札幌、仙台、高崎、長野、浜松、名古屋、金沢、大阪、広島、松山、福岡、熊本 (全国35拠点)	
事業年度末	3月31日	
社員数	連結:1,416名 / 単体:553名 (2021年3月31日現在)	
上場取引所	東京証券取引所市場第一部、名古屋証券取引所市場第一部	
連結子会社 (2021年10月末日現在)	1. 株式会社オートウェイ 2. 株式会社タイヤワールド館ベスト 3. 株式会社グーネットエクスチェンジ(旧 キングスオート) 4. 株式会社プロトリオス 5. 株式会社カークレド 6. 株式会社カーブリックス 7. 株式会社プロトソリューション 8. 株式会社沖縄コールスタッフサービス 9. 株式会社アソシエ 10. 株式会社プロトベンチャーズ 11. プロトベンチャーズ 2号投資事業有限責任組合 12. 株式会社オニオン 13. CAR CREDO (Thailand) Co.,Ltd. 14. 株式会社UB Datatech ※出資比率:33.3%	



コーポレートサイト

IRサイト

株式会社プロトコーポレーション

<https://www.proto-g.co.jp/>

<https://www.proto-g.co.jp/IR/>

# 2021 Annual (ESG) Report

アニュアル(ESG)レポート 2021



# 企業目標・経営理念

## 企業目標

### — 未来に向けて変化し続ける会社 — チェンジング・カンパニー

変化と革新で新しい社会をつくることで、  
「お客様の満足(有益な情報とサービス)」と「社員の誇り(会社と仕事)」、  
そして「株主からの信頼(将来と実績)」を得る。

## 経営理念

### データを未来の知恵に変え 夢と感動 楽しい! で 社会に貢献することを経営理念とする

当社は、「夢」と「感動」と「楽しい!」で人々をつなぎ、未来を変える期待感にあふれる存在でありたい。  
AIを駆使した超スマート社会は人々のライフスタイルや働き方を大きく変えていきますが、  
そうした社会をつくる側の基盤にあるものは、より人間らしい感性です。  
未来の社会に「夢」を描くこと、人々が「感動」すること、そして何より「楽しい!」こと。  
こうしたもっとも人間らしい行動が社会に新しい価値を生み続けます。  
時代は未曾有の転換期にあって、これまでの常識もやり方も通用しくなくなります。  
私たちにとって変化は脅威ではなく、「未来の夢を描く絶好の機会」と捉え、  
社員ひとりひとりが「夢」に挑戦することで、社会を「感動」と「楽しい!」で紡ぐのです。

未来の夢を考えることは楽しい  
感動することはもっと楽しい  
それに挑戦する努力はもっともっと楽しい

先進的で、独創的で、何より人間的であることに価値を置き、新たなAI時代をリードしたい。

**P**ersonality **R**ealize **O**riginal **T**otal **O**ffer  
個性 実現する 独創的な 総合的な 提供する

「個性」を活かした「独創的」な商品を「実現」し、  
広く社会に「総合提供」いたします。



## トップメッセージ



代表取締役社長 神谷健司

### グリーンユーザーへ「安心」を提供

当社は、情報の非対称性が生じやすい中古車市場において「理想の1台を選びたい」というユーザーからの期待の声に応えるため、クルマ情報メディア「グリーンネット」を運営しております。また、透明性の高い情報を提供するため、当社グループにて年間約61万台の車両検査を実施しています。検査された中古車の詳細な車両状態を情報開示することによって、ユーザーが安心して中古車を購入出来る環境を整備しております。

### これからのプロトコーポレーション

当社は1977年に日本で初めて中古車情報誌を出版し、1990年代後半からインターネット版「グリーンネット」をリリースいたしました。その後、自動車業界でのポジション確立を目標として、新車領域、整備領域、中古車輸出領域、タイヤ領域と、アフターマーケットを含む多くの領域への進出を果たしてまいりました。現在は「データを未来の知恵に変え 夢と感動 楽しい!で社会に貢献する」という経営理念のもと、各領域におけるDXを推進し、ビッグデータやAIを活用したプロダクトをリリースしております。

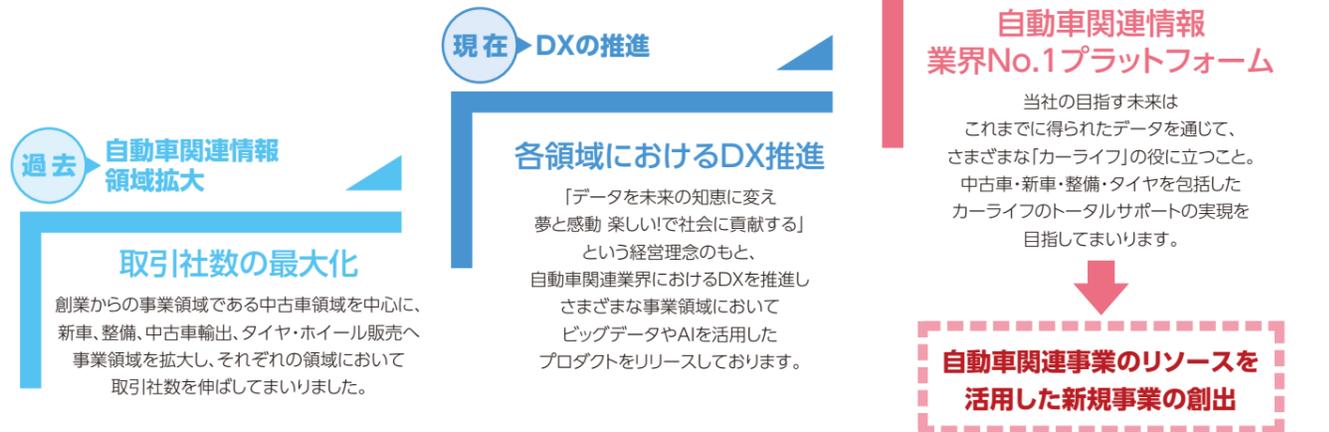
当社が目指す未来は、これまでに得られた膨大なデータを通じて自動車関連情報業界No.1プラットフォームを構築し、カーライフのトータルサポートを実現することです。また、自動車関連事業のリソースを活用し、社会課題の解決に貢献する新規事業の創出を目指しております。

### ESGへの取り組みについて

これからの経営の在り方を考えていく上で、そして現在の経営を評価していく上で、ESGの観点は必要不可欠なものであると認識しております。当社は多様なステークホルダーとの対話を通じて、社会からの要請を的確に把握し、適切な対応を行うことで社会価値(社会課題解決への貢献)と経済価値(企業価値の向上により生み出される利益)の創造を行い、持続可能な社会の実現を目指して参ります。

## 将来の目指すポジション

### DXによってカーライフを革新し、 業界No.1のプラットフォーム構築を目指す



# サステナビリティ基本方針

当社は、「データを未来の知恵に変え 夢と感動 楽しい!で社会に貢献すること」を経営理念としており、社会価値(社会課題解決への貢献)と経済価値(企業価値の向上により生み出される利益)の創造を行うことで持続可能な社会の実現を目指します。その取り組みに際しては、多様なステークホルダー(顧客・従業員・株主・投資家・取引先・行政・地域社会など)と責任のある対話を通じて、社会からの要請を的確に把握し、適切な対応を行うことで社会への責任を果たしてまいります。

## 環境 Environment

企業が継続的に活動していく過程において、サステナビリティは重要な事項と考えております。当社では、地球環境問題に係る取り組みとして、消費電力の少ないLEDライト、OA機器、サーバー等への切替を推進しております。なお、2021年3月期の電気使用量は926,553kwh(プロトコーポレーション)という水準にありますが、今後においても継続的な電気使用量の削減を推進してまいります。

また、気候変動に係るリスクについては事業特性上、社会・ガバナンスと比較してソーシャルインパクトは少ないものの、自社だけでなく自動車関連業界、ひいては社会全体におけるサステナビリティを高めるべく、環境資源の低減やエネルギー節約等を事業活動へ自主的に組み込み、内部統制委員会の運営を通じて推進してまいります。

今後、TCFDの枠組みに基づき、気候変動対策に取り組むことで、脱炭素社会への移行推進に貢献してまいります。



## 社会 Social

### 中古車業界における情報の非対称性の解消と取り組み

情報の非対称性が生じやすい中古車市場において、クルマ情報メディア「グーネット」を通じて売り手・買い手の間に立ち、意思決定に十分な情報量を提供するとともに、その情報の質についても透明性・信頼性の高さを追求することで、ユーザー(買い手)が安心して中古車を購入できる環境を整備しております。

◎ グーネットサイトはこちら(日本語版) → <https://www.goo-net.com/>

### 車両状態情報の開示サービス

情報の質の透明性・信頼性の高さを追求するため、車両状態情報の開示サービス「ID 車両(グー鑑定+メーカー認定中古車)」を行い、検査情報を付与しております。

この開示情報については、オンライン上の「車両状態評価書」を通じて、外装・内装・機関・修復歴等のコンディションを確認することが可能であるため、ユーザーが安心して中古車を購入することが出来、結果としてグーネットの高い成約率にも寄与しております。

◎ ID車両についての詳細はこちら(日本語版) → <https://www.idsyaryo.com/>

◎ グー鑑定についての詳細はこちら(日本語版) → <https://www.goo-net.com/kantei/>

### 自動車業界のデジタル化推進

自動車関連業界のDXを推進しており、業務効率化とユーザーコミュニケーションの向上を目的としたソフトウェア投資を行っております。

<p>中古車販売店の業務効率化支援ツール <b>MOTOR GATE AI</b></p> <p>中古車の写真を基に、AIがグーネットに掲載する中古車物件情報とアクセス向上に寄与する車種紹介コメントを自動で生成。中古車販売店のデータ登録時間を約5割削減。(従来比)</p>	<p>新車ディーラーの業務効率化支援ツール <b>DataLine AI査定</b></p> <p>当社のビッグデータと人工知能(AI)を組み合わせることで、該当車両の査定価格を瞬時に自動算出できるサービス。1台1台状態が異なるため、難しいといわれている車両の査定業務の効率化に寄与。</p>	<p>自動車整備工場の業務効率化支援ツール <b>AIチャットボット</b></p> <p>ユーザーが希望するサービスをチャット形式でAIスタッフ「LinKa」がヒアリングし来店日時予約まで誘導する。ユーザーにとって専門的で分かりにくい整備作業について最適な情報を提供するとともに受付業務のAI化により整備工場の業務効率化に寄与。</p>
--	--	---

上記以外にもさまざまなサービスをリリースしております。

今後も引き続き、DX関連サービスの開発を進め、  
自動車業界のデジタル化と業務効率化の推進に貢献してまいります。

# 社会 Social

## 従業員が生き活きと働くことができる会社を目指して

当社では、企業の社会的責任を果たすためには、人権を尊重するとともに、人と社会、地球の持続可能性に貢献する事業を推進していくことが重要と考えております。そのために、当社では、あらゆる企業活動の基盤となる「企業行動憲章」を定め、高い倫理観を持って行動するよう努めております。

◎ 企業行動憲章の全文はこちら(日本語版) → <https://www.proto-g.co.jp/proto/charter.html>

## 多様性の確保について

国籍や性別、年齢、障がいの有無などに関わらず、全社員が主体的・能動的・自律的に、楽しく生き活きと働くことができる企業風土の実現を目指しています。そのために人材の多様性から得られる活力は重要な人的資本であると認識しており、女性や外国人、障がい者等の多様性のある採用を積極的に実施するとともに、その人材配置・育成・教育・登用等においても積極的に取り組んでいく予定です。

当社HPにおいて、女性の採用割合、女性の平均勤続年数比率、また子育てを行う労働者等の職業生活との両立を支援するための雇用環境の整備等について、その計画と定量目標を掲げております。

◎ 一般事業主行動計画の全文はこちら(日本語版) → <https://www.proto-g.co.jp/proto/general.html>

## 社内報による取り組み

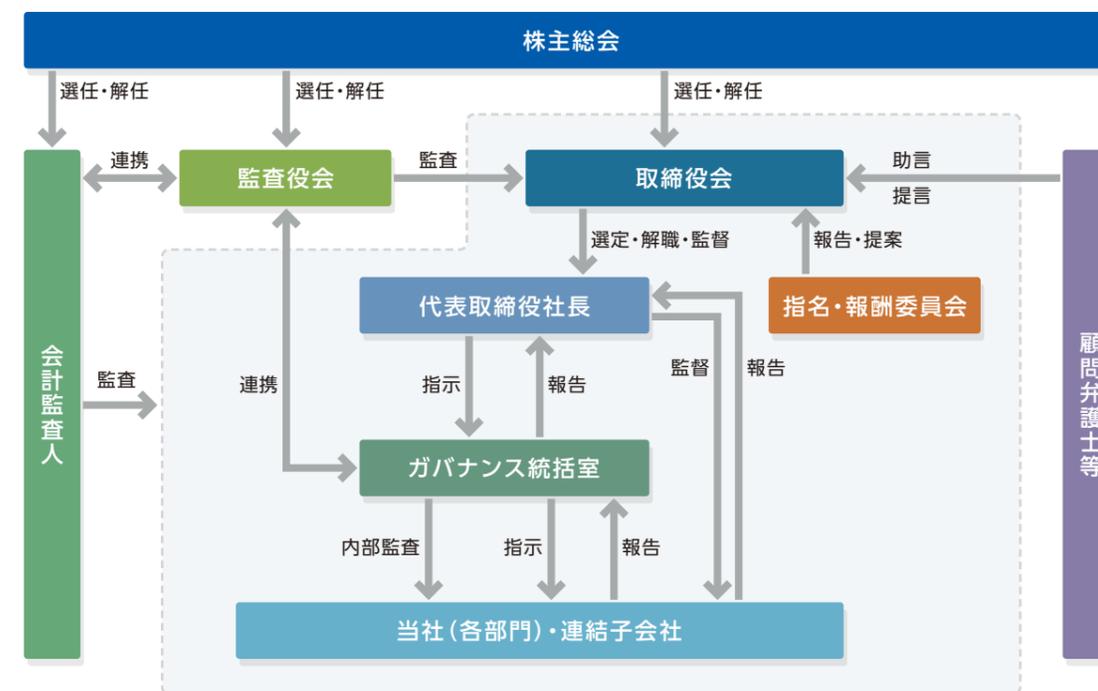
子育てをしながら働く従業員や女性社員を応援する企画を掲載しており、ライフイベントと仕事の両立に関する情報を積極的に取り上げることによって、社内における意識改革を推進しております。

また、電子版社内報では動画配信を行っております。社員へのお知らせがある際に代表取締役社長より説明を行う他、活躍している社員の紹介動画等を配信し、従業員エンゲージメントの向上に努めております。



# コーポレート・ガバナンス Governance

## コーポレート・ガバナンスの基本方針



当社は、継続的かつ安定的な収益確保と更なる事業規模の拡大により企業価値を高めるとともに、社会から信頼を得られる透明性の高い健全な経営を実現することがコーポレート・ガバナンスの目的であると考えています。また、当社では、株主の皆様をはじめ、取引先、従業員等のステークホルダーに対する利益の最大化を常に意識した経営を心掛けており、その結果が当社の社会的存在価値の向上に繋がるものと考えています。今後におきましても、コンプライアンス(法令遵守)の徹底ならびに経営監視・監督機能の強化を図るとともに、適時、適正かつ公平な情報開示に努め、透明性の高い健全な経営体制の確立に努めていきます。

◎ 当社コーポレートサイトにコーポレート・ガバナンスに関する報告書、当社の取り組み、当社取締役会の実効性に関する評価結果の概要を掲載しております。(日本語版)  
→ <https://www.proto-g.co.jp/IR/esg/governance.html>

◎ 英語版についてはコーポレート・ガバナンスに関する報告書を掲載しております。  
→ <https://www.proto-g.co.jp/IR/english/esg/governance.html>